

電波時計（AC電源デジタル目覚まし時計）取扱説明書

取扱説明書番号 D051-CXXY

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 家庭用AC100Vを電源として使用
- 停電しても設定を保持します

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y0911)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ099」をお伝えください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp**お問い合わせ先 お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。
分解禁止

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。
注意

液晶表示板について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
注意

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。
禁止

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや故障の原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃	表 示 方 式	セグメントLED
時 間 精 度	表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒（常温中のクォーツ精度）	時 刻	AM/PM 12時間表示
時 計 電 源	入力定格：DC 6V 400mA	日 付	月、日（2009年～2059年）
AC電源アダプター	入力定格：AC 100V 50/60Hz 出力定格：DC 6V 400mA 消費電力：約6W	明 ら さ	2段階切り替え
停 電 補 償 電 源	リチウム電池 CR2032 1個 停電補償時間：約1000時間	表 示	時刻、日付切り替え式
標 準 電 波	福島局 / 九州局自動選択 受信回数 1日8回 受信時刻 1時～4時、13時～16時 各時間帯の16分40秒に受信を開始 電波受信機能ON/OFF切り替え	ア ラ ー ム	アラーム精度：表示時刻に対して±0秒 アラーム音：電子音（鳴り方が変化） スヌーズ機能：約5分間アラーム音停止 スヌーズ回数は7回まで オートストップ：約2分で自動停止 モニター：約2分間アラーム音を鳴らす ランプ：アラームスイッチONで点灯

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

リチウム電池（内蔵）	1個	AC電源アダプター	1個
取扱説明書	本書	保証書	1枚

電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

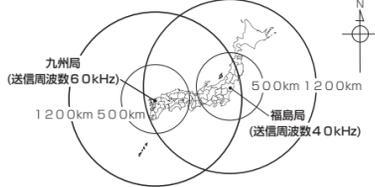
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jijy.nict.go.jp）

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。また、AC電源アダプターは日本国内用ですので、海外での使用はお止めください。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電源アダプターについて

 コンセントから電源アダプターを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源アダプター本体を持って引き抜いてください。電源コードを持って引っ張るとコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
プラグを持つ

 長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。
プラグを抜く

 たこ足配線をしないでください。異常発熱や火災の原因になることがあります。
禁止

 電源アダプターの電極およびコンセントの差し込み口にほこりが付着しているときには、乾いた布でよく拭きとってください。そのまま使用すると火災の原因になります。
ほこりを取る

 電源アダプターおよび電源ケーブルが傷んだときは使用を中止してください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
使用禁止

 時計や電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには直ちに電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電・火災の原因になります。
プラグを抜く

 濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
禁止

 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
禁止

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  **注意**
- 電池に傷をつけたり、分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。

液もれが起きてしまったとき

 **警告** 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 **注意** もれた液に直接触れないでください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていますが、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

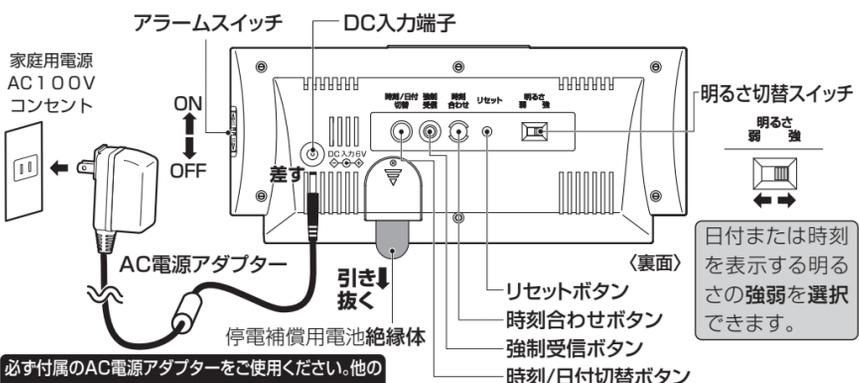
 **注意** 火に入れると破裂の原因となり危険です。

静電気の影響について

静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

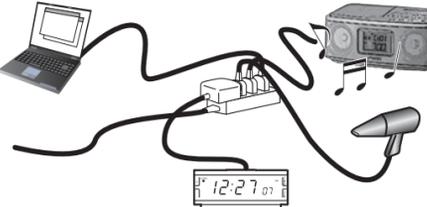
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



必ず付属のAC電源アダプターをご使用ください。他のものを使用すると正常に機能しないことがあります。

悪い接続例



家電製品やパソコンなどが接続された、テーブルタップにAC電源アダプターを接続するとノイズの影響を受け、受信に失敗することがあります。

接続するときのポイント

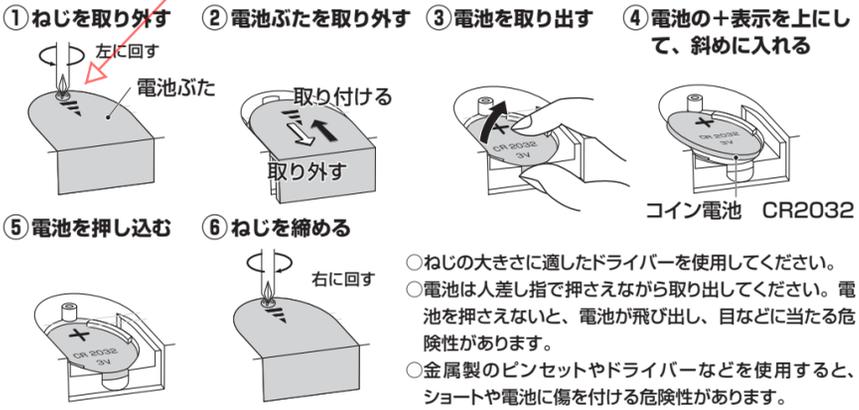
- *単独のコンセントに接続する。
- *AC電源アダプター本体と時計を30cm以上離す。

A 停電補償用電池……停電時の設定の保持、電池の交換について

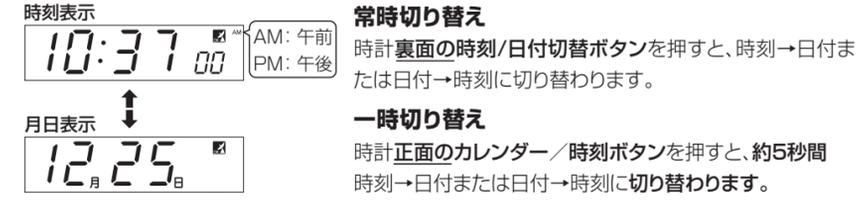
停電などにより電力が得られないときは、停電補償用電池により、時刻を刻み続け、定期的標準電波の受信を行います。電力が回復すると表示を再開します。

- 停電補償用の電池のみでは、時刻や日付を表示しません。また、アラームも鳴りません。
- 電力が回復したときに時刻や日付が正常に回復しないときは未使用の新しい電池に交換してください。

電池の交換手順 生産時期によりねじを使用していない商品がございます。



B 時刻/日付表示の切り替え



●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。

C 電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわで、取扱説明書の日本地図を参考にして、なるべく時計の正面または裏面が電波送信所に向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。

■手動での時刻の合わせ方

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - +または-ボタンを押して数値を合わせます。
 - +または-ボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。
- ☞ 電波受信機能のON/OFF操作
- ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。



- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム中およびアラーム時刻が点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

D 電波受信機能のON/OFF操作

- 受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)
- リセットボタンを約1秒間隔で3回押しください。
- 「ピ」と鳴ったらすぐに押しください。
 - 受信機能がOFFになると「ピ」と鳴りません。
 - 年月日と時刻は手動で合わせてください。
- 工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効 (ON) になっています。
- 操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
- AC電源アダプターを取り外しても、停電補償用電池により設定は保持されます。
- 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
- ボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後、- ボタンを離してください。
- 定期的に受信して標準時刻に合わせます。

1 電波を受信して時刻を合わせる

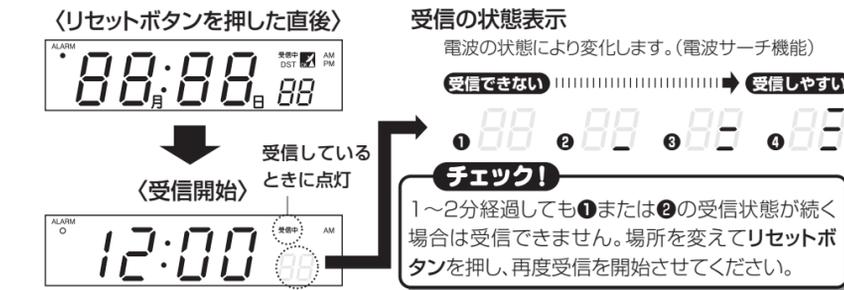
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、☞電波を受信できない場合の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

受信しやすい窓際などに置いてください。

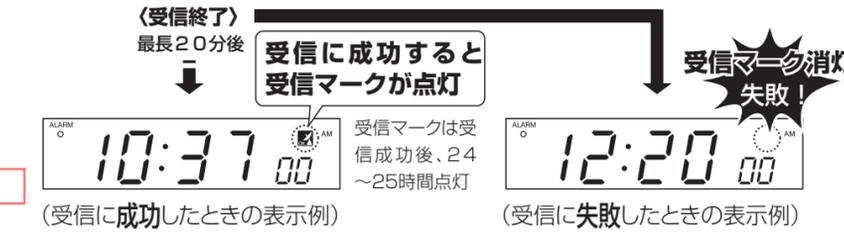
- 停電補償用電池の絶縁体を引き抜く
 - AC電源アダプターを接続する
AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計裏面のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。
 - リセットボタンを押す
「ピ」と鳴って、「受信中」が点灯して受信を開始します。
※時計を使い始めるときは、必ずリセットボタンを押してください。
 - 受信開始から20分後に受信結果を確認する
受信は最長で20分程度行きます。【受信の流れと表示】参照
受信マーク 点灯:受信成功、消灯:受信失敗→☞電波を受信できない場合参照
- ☞ 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について
電波の受信中に+または-ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信を中止します。

【受信の流れと表示】



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2009年1月1日、午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。



※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

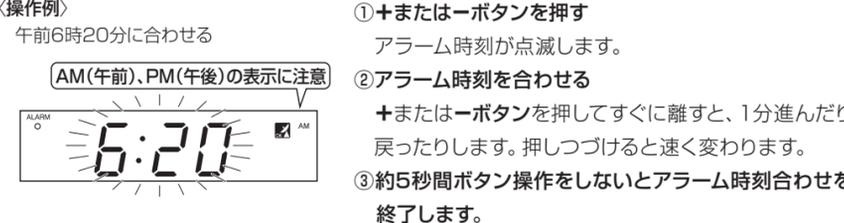
※受信に失敗した場合は、表示されている日付/時刻は正しくありません。

アドバイス

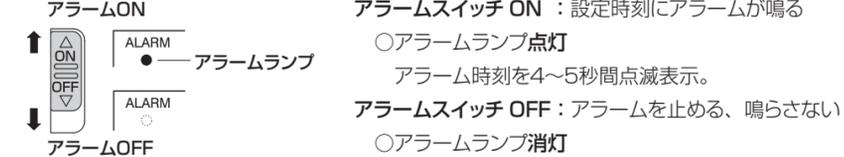
テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方



アラームのON/OFF設定



アラーム時刻は、常時表示されません。アラーム時刻を確認するときは、アラームスイッチをOFFからONにするか、+または-ボタンを押してすぐ離してください。4~5秒間アラーム時刻を点滅表示します。

アラームオートストップ機能……アラーム音の自動停止

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴りつづけて終了します。

スヌーズ機能……止めてもまた鳴る

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームランプが点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームランプは点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチがONのときは、毎日アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。使わないときは、アラームスイッチをOFFにしてください。

アラーム音の確認方法

- 時計正面のモニターボタンを押すと、アラームが約2分間鳴ります。途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。
- 「受信中」が点灯しているときは、モニターボタンを押しても機能しません。

3 強制受信とリセット操作

- 強制受信ボタン
- 場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。
- 受信機能が無効のときは、機能しません。
 - 手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。
 - アラームが鳴っているときやスヌーズ中は機能しません。
- リセットボタン
- 時計を使い始めるときや静電気などにより誤作動したときに押します。
- リセット直後は、2009年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。
- 受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。